

マツダ株式会社が発行する 「トランジションボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、マツダ株式会社（以下「本法人」）が発行する第 31 回無担保普通社債（トランジションボンド）（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2024 年 3 月 7 日）。

「トランジションボンド」とは、企業の温室効果ガス排出削減に向けた長期的な移行（トランジション）戦略に則ったプロジェクトへの投資を用途とする債券のことです。

本債券の発行により調達する資金は、バッテリーEV やプラグインハイブリッド車などの開発・製造、グローバル自社工場のカーボンニュートラルに充当される予定です。

また、本法人は本債券の発行にあたり、「サステナブル・ファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際資本市場協会（ICMA）が定める「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック 2023」をはじめとした各種原則・ガイドライン等に適合しているとの第三者意見を取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上